

クーリングシエルター について

答 公共施設を早急に指定して、
周知を進めていく



下田めぐみ 議員

新しく設置する教育支援センターは どういうものか

答 不登校児童生徒の社会的
自立を促す施設である



梶原 一美 議員

町政を問う！ 一般質問

下田 近年、地球温暖化の影響もあり、昔と暑さが変わってきた。特に高齢者や子どもを中心に、暑さへの対策は急務と考える。環境省の熱中症予防情報でも、クーリングシエルターの設置が推奨されている。安心して避難できる場所を確保することは、今後重要な課題である。健康被害のリスクを無くすため、猛暑対策・クーリングシエルターの設置状況について伺う。

下田 誰もが安心して暮らすためには、猛暑期間だけでも役場や町の施設、公民館等を開放することはできないか。

町長 クーリングシエルターとして、役場・町民交流センター公共施設を指定して利用できるように早急に進めていく。公共施設以外でも、要件を満たす民間施設に協力を呼びかけていきたい。



▶環境省
クーリングシエルターマーク

梶原 不登校児童生徒へのこれまでの対応は不十分だったのか。

教育長 学校に全く来ることができない児童生徒への対応は課題だった。

梶原 設置目的は何か。

教育長 登校できない児童生徒に学校復帰及び社会的自立の基礎を養うための支援を行うことである。

梶原 なぜ、はなやぎの里の2階に作るのか。

教育長 学校復帰を目指すため、学習に加重スポーツや野外活動、手作り工作や調理



はなやぎの里

梶原 実習などを考えており、こうした活動が得意やすい。

梶原 教育支援センターは不登校児童生徒への支援の中核となることへの期待にどう答えるのか。

教育長 学校の不登校対策委員会や関係機関、関係団体とも連携

し、保護者とも情報共有しながら進めたい。内容、人員体制の詳細については検討中である。

その他
上広川小学校の移転計画の進捗について尋ねた。現在、検討委員会立ち上げに向けて、今後の児童数の推移など基礎資料の収集を行っている」と回答を得た。